

# 長寿社会とICT

秋山 弘子

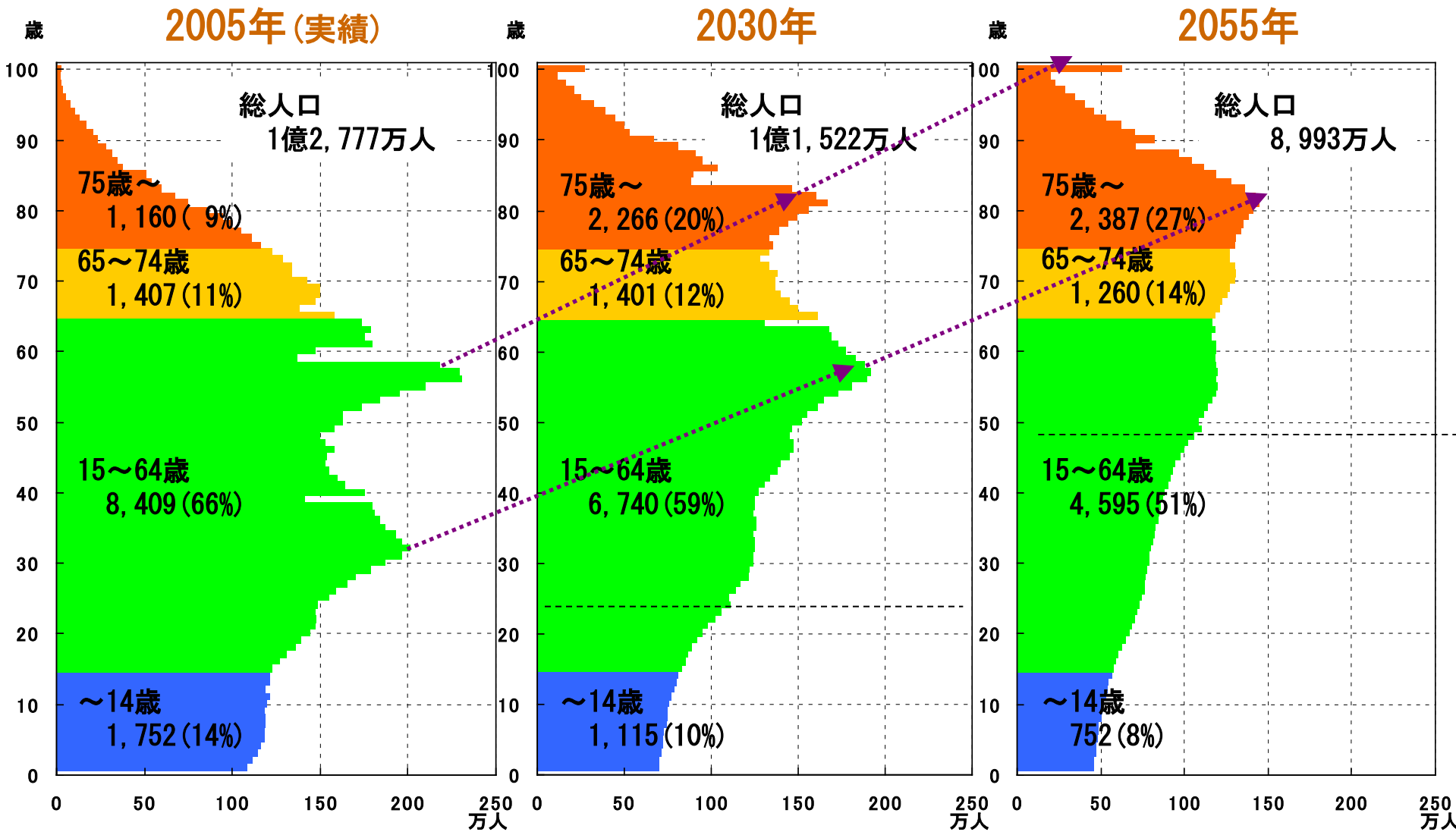
東京大学高齢社会総合研究機構

総務省 ICT超高齢社会構想会議

2012年12月7日

# 高齢者人口の高齢化

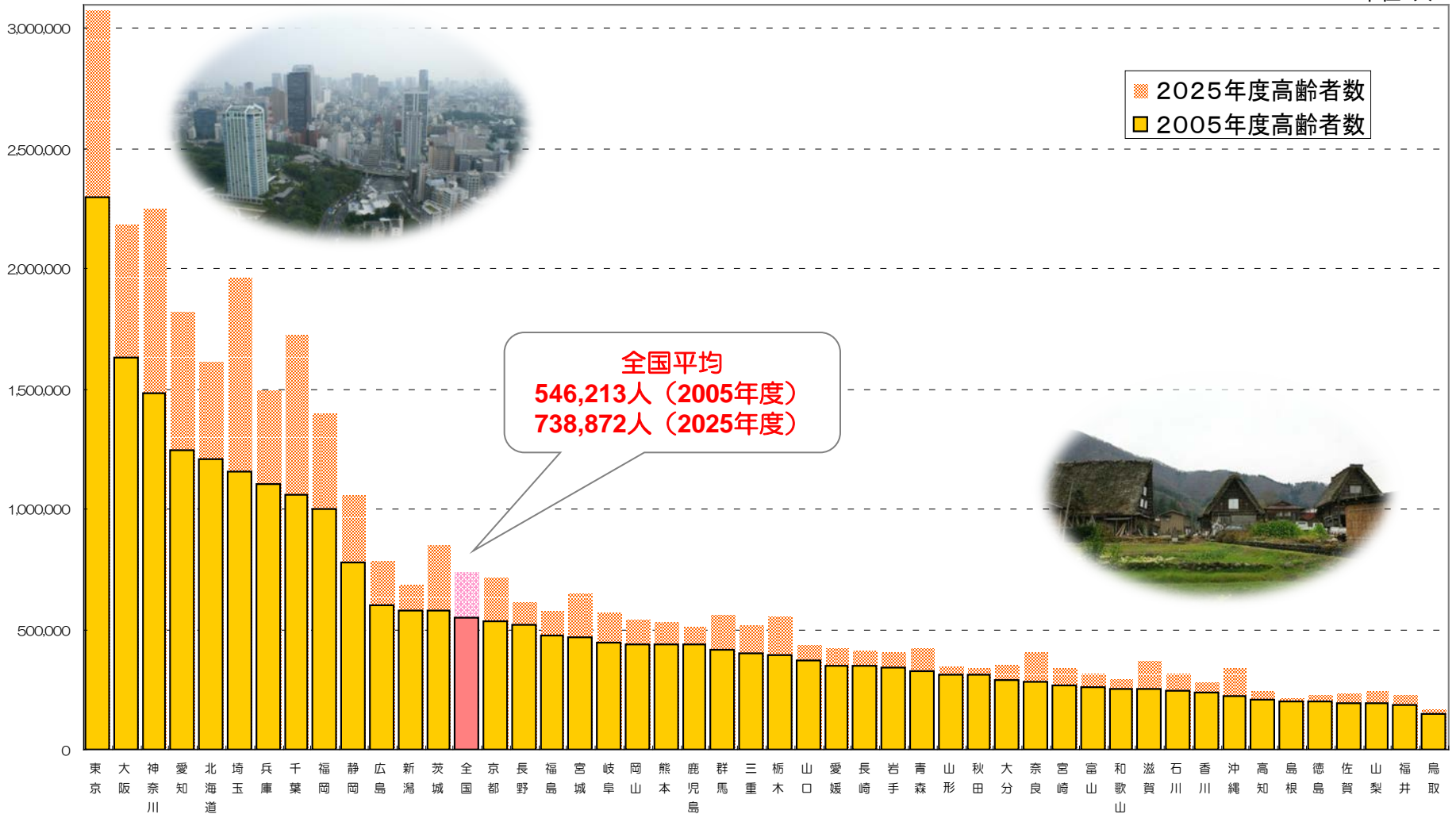
—平成18年中位推計—



注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

# 高齢化するのは都市人口

単位:人



【資料】

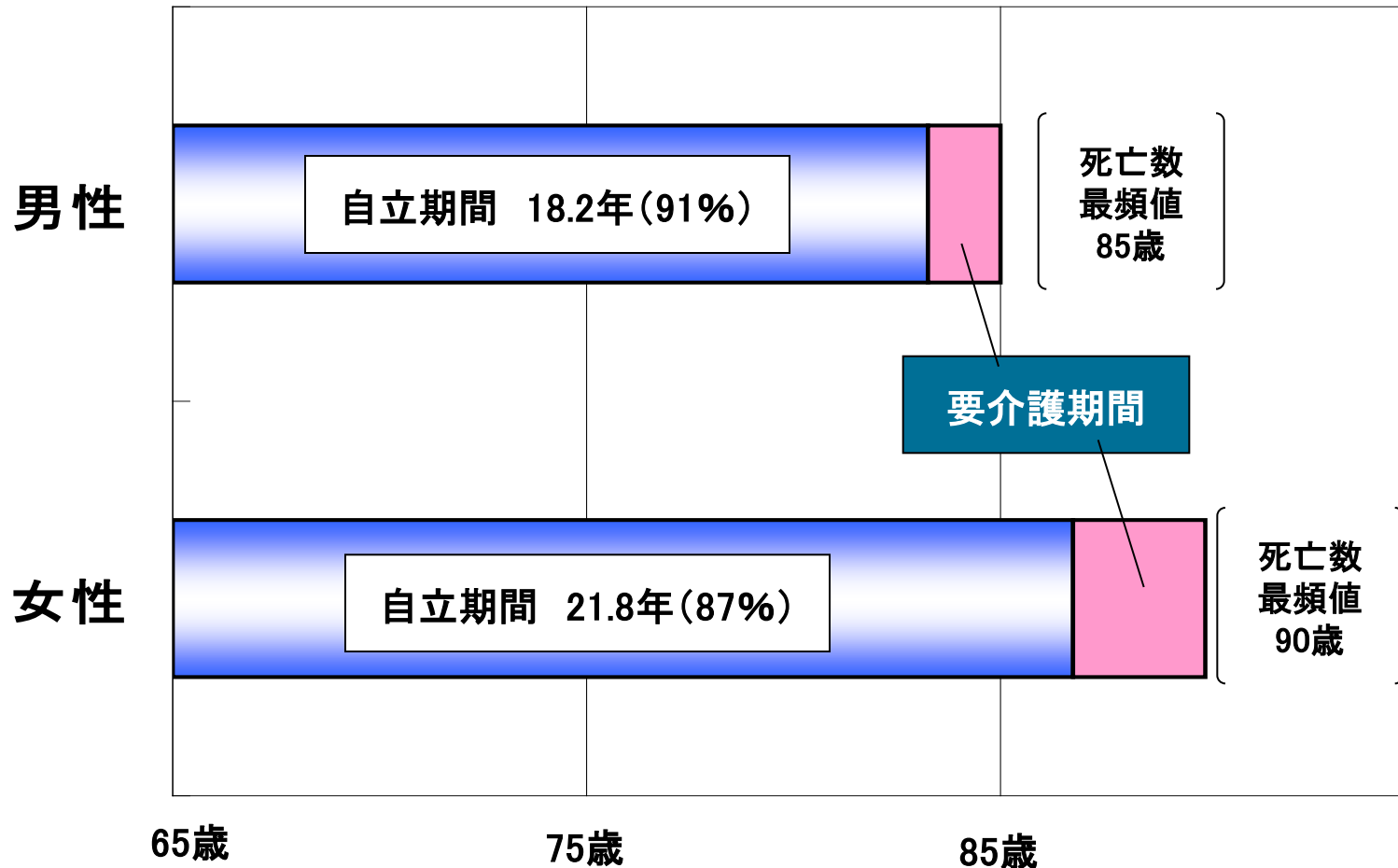
2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」

2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

# 人生は長い！（老後の自立生活時間の長さ：推計）

**長い老後生活（※男性20年、女性25年）の9割は自立生活時間！**

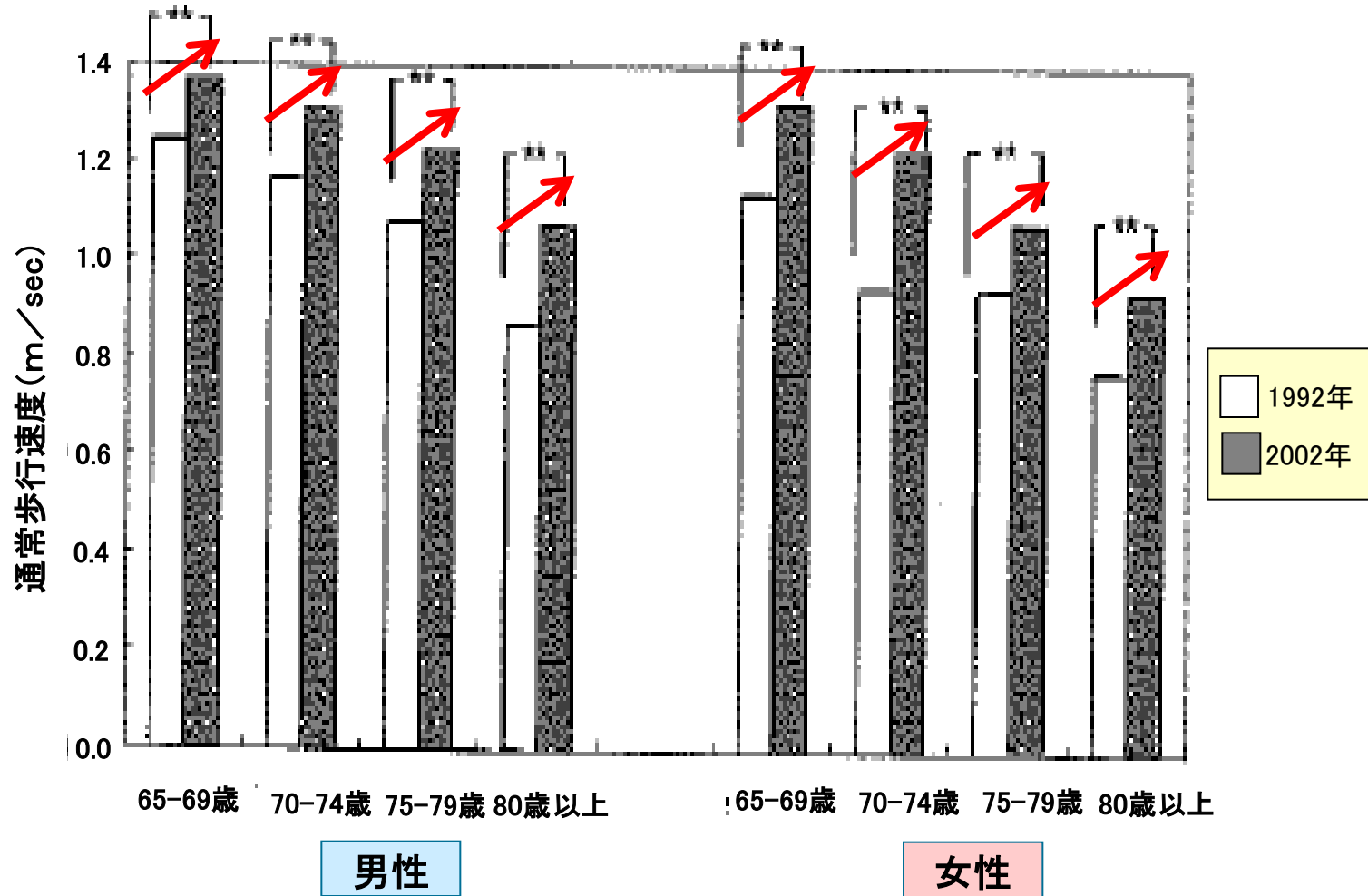
※死亡時年齢最頻値（厚生労働省「完全生命表（2005年）」－65歳より算出



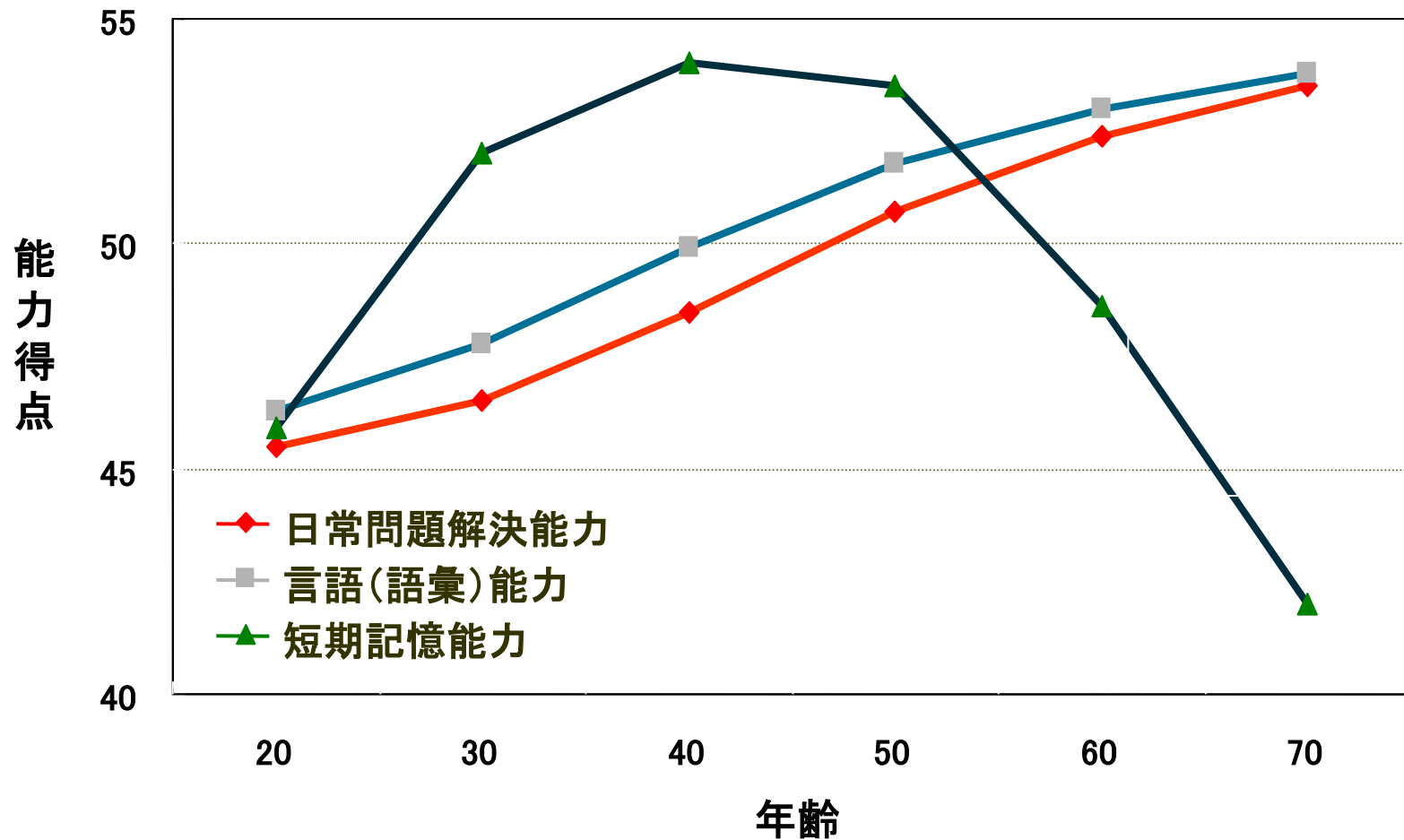
資料：平成12年版厚生白書（「保健医療福祉に関する地域指標の総合的開発と応用に関する研究」；平成9年度厚生科研費補助研究事業）をもとに筆者が作成

# 高齢者は若返っている

10年前(1992年)と今(2002年)の高齢者の通常歩行速度を比べてみると、男女ともに**11歳**若返っている！(ex.今の75歳は昔の64歳！)

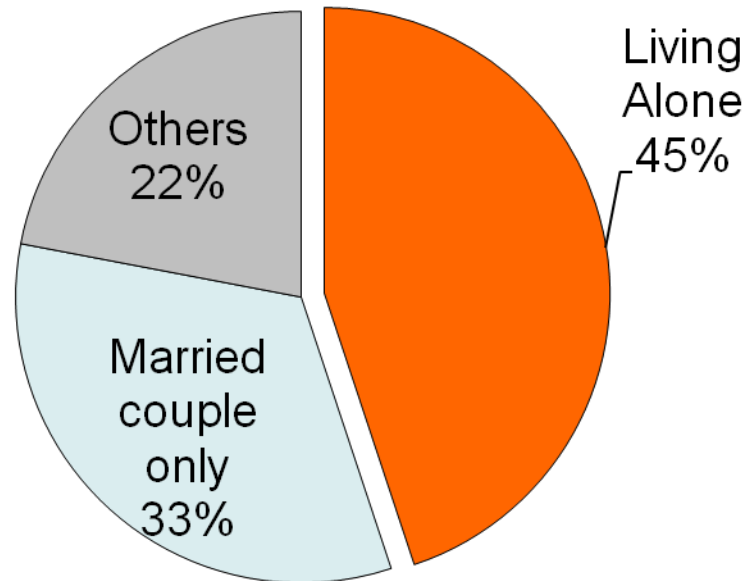


# 認知能力の年齢による変化



Cornelius and Caspi(1987, p150) より

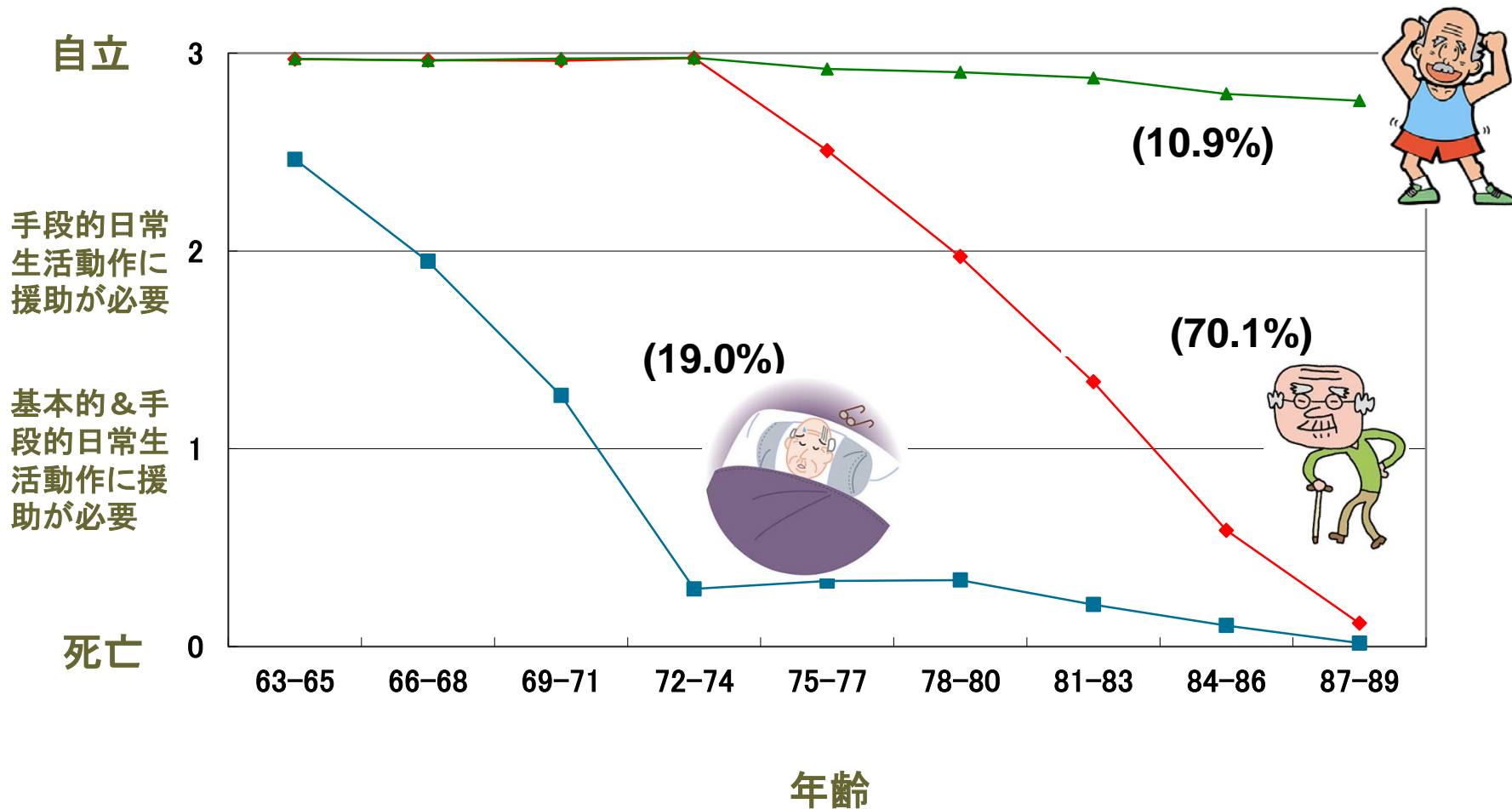
# 20年後には・・・



# 自立度の変化パターン

## —全国高齢者20年の追跡調査—

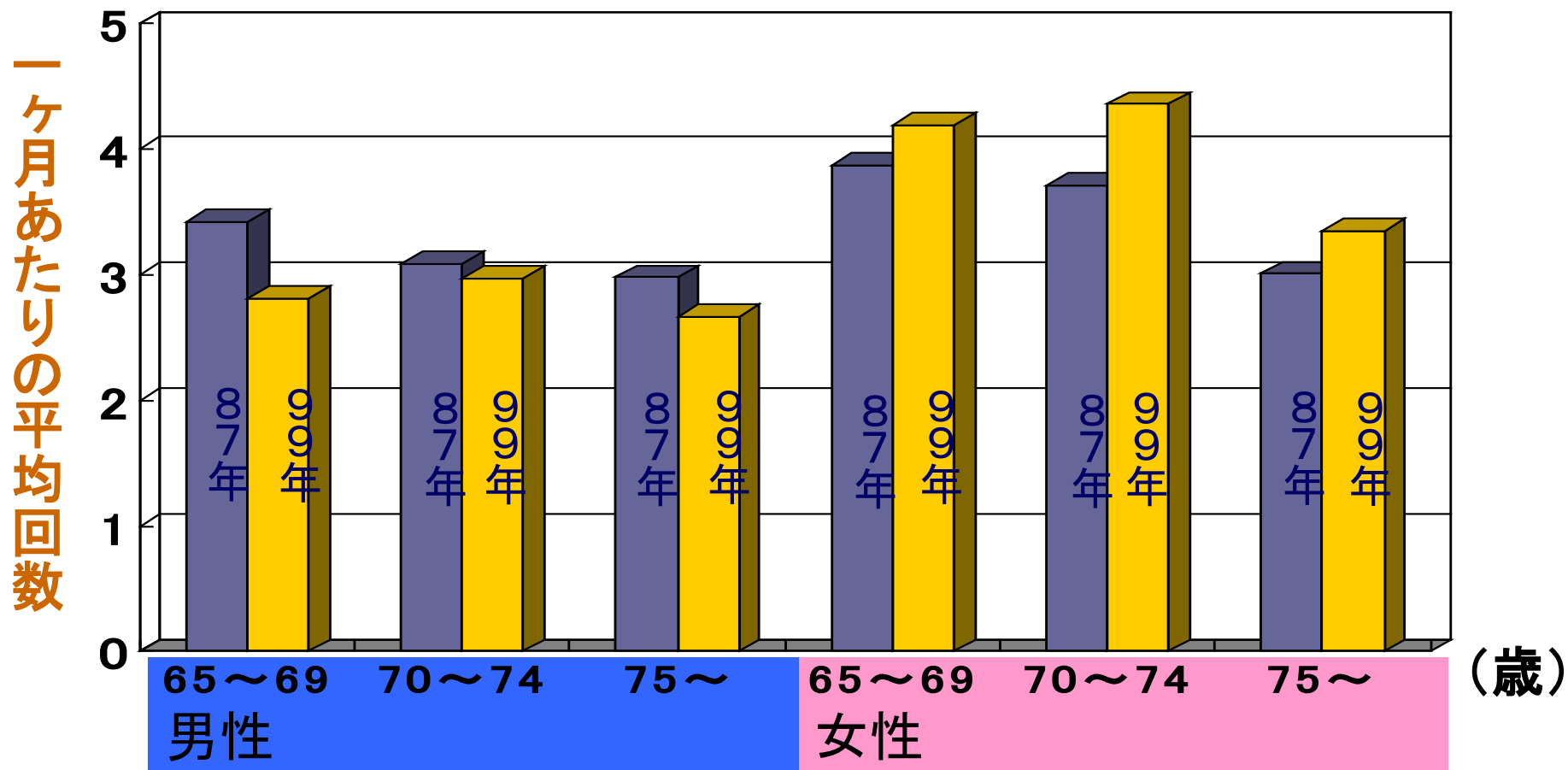
### 男性



出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010



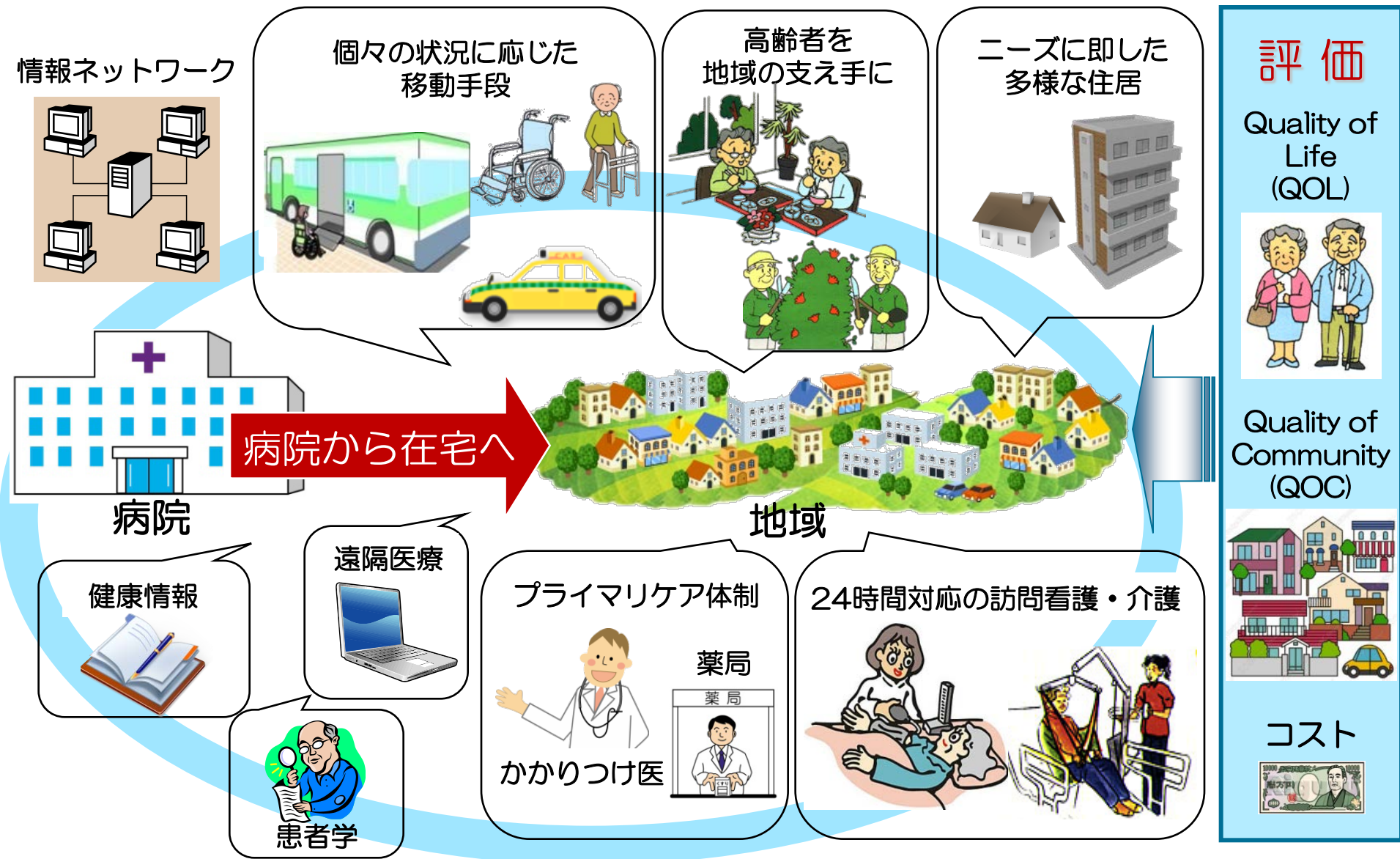
# 友人・近所の人・親戚との対面接触



# 何をなすべきか？

- 自立期間(健康寿命)の延長
- 住み慣れたところで日常生活の継続を支える生活環境の整備
- 人の繋がりづくり

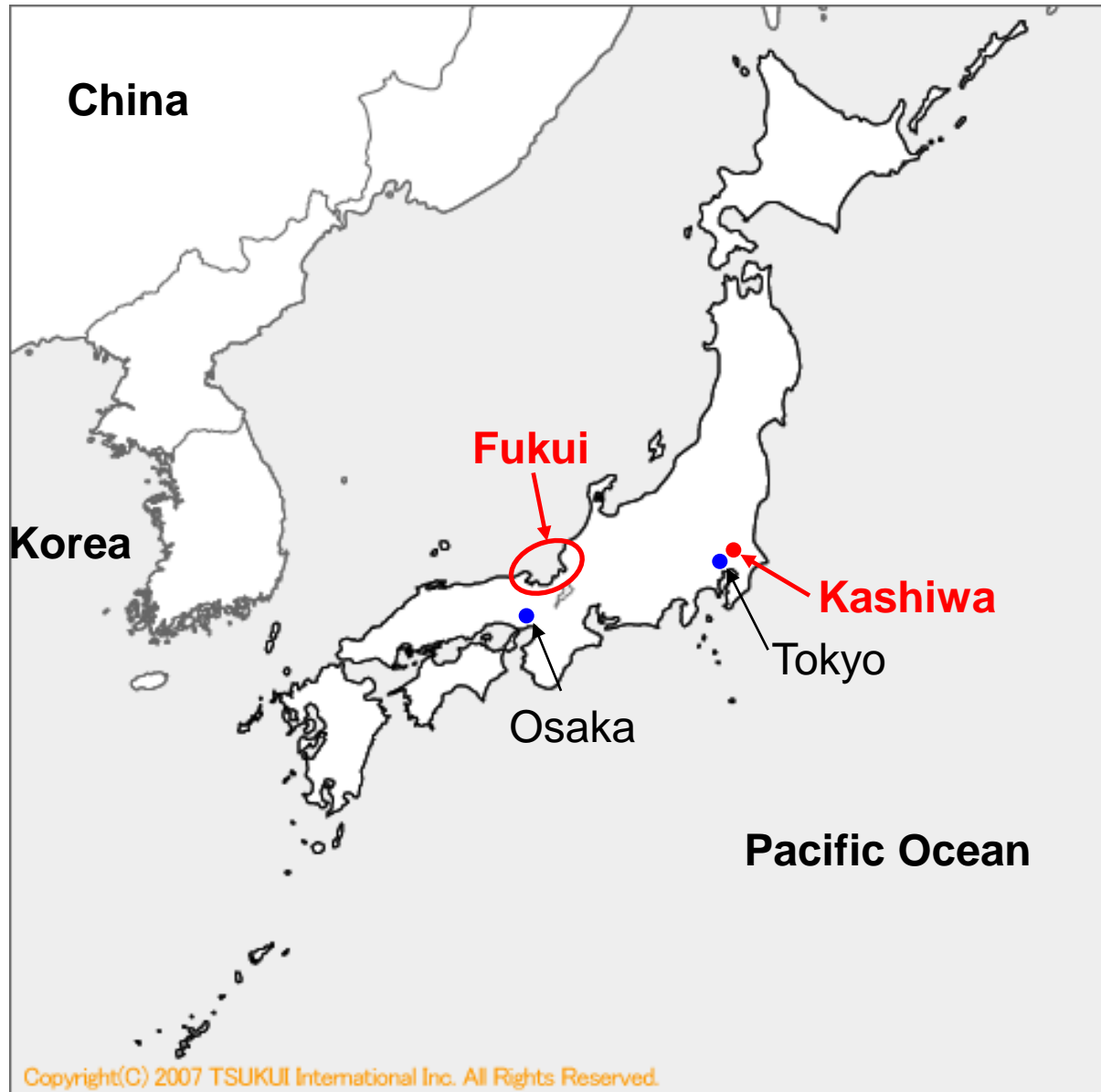
# 長寿社会のまちづくり : コミュニティで社会実験



# まちづくりの主要な領域

- 生涯学習・就労・社会参加
- 人の繋がり
- 包括的医療・介護システム
- 移動手段
- 情報システム

# 2つのコミュニティで社会実験



**全員参加**

**生涯参加**

# ICTで在宅ワーク

子育て世帯に魅力的な保育

芋ほり、どろんこ体験保育  
でテレワーカー家族支援

散歩道  
運動兼ねて  
ストレス解消

手作りパン工房  
昼食は奥様方自慢の  
焼き立てパンで舌鼓  
会話も弾み気分転換

庭先コミュニティー  
近隣住民とバーベキュー  
でワイワイ多世代交流

在宅勤務(テレワーク)  
仕事と住環境のt養和で  
快適ライフ&ワーク

ビジネスセンター  
ICTを活用した地域住民&  
企業のワーキングスペース

# セカンドライフの就労

市民農園



ファーマーズ  
マーケット



わいわい食堂



配食サービス



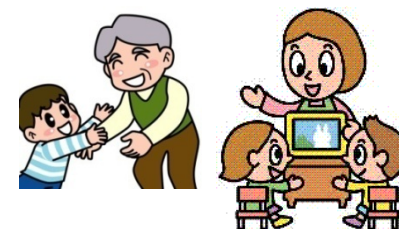
屋上農園



紙おむつ  
リサイクル工場



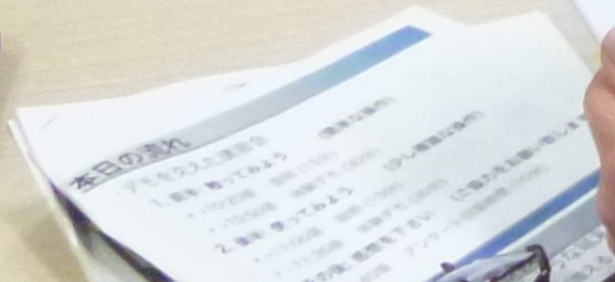
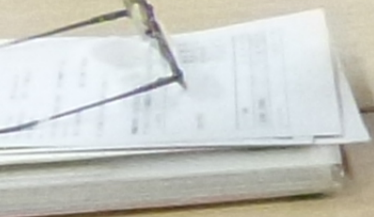
学童保育





# 活躍するシニア

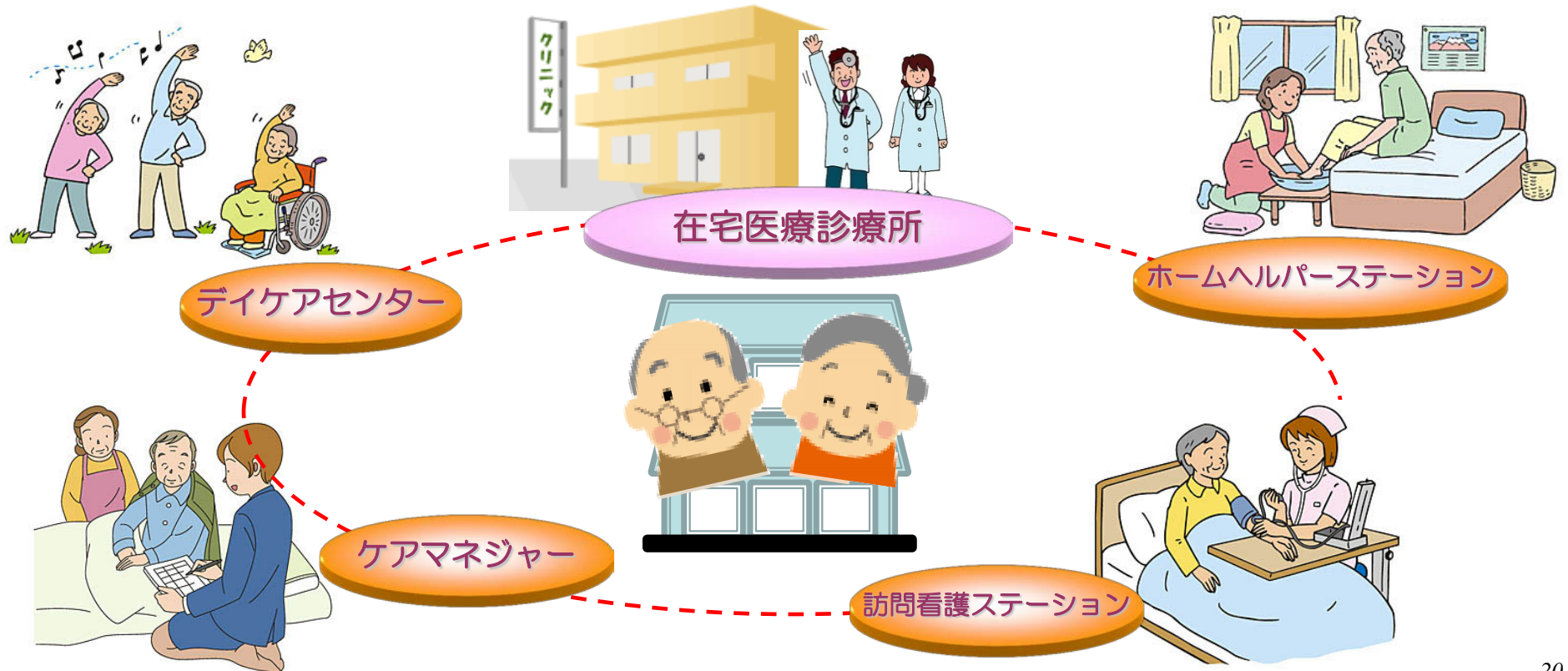
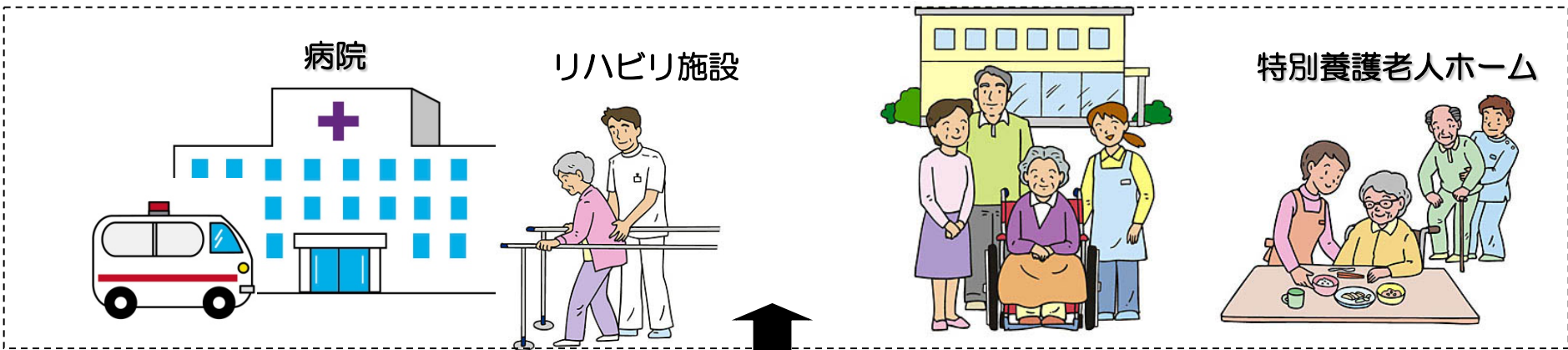




# Aging in Place

弱っても安心して快適な生活を

# 在宅医療システム: Cure → Care



# 高齢者にもやさしい移動手段



シルバー・ビークル



自転車・三輪車

コミュニティ・バス



道路計画の見直し



運転能力のアセスメント

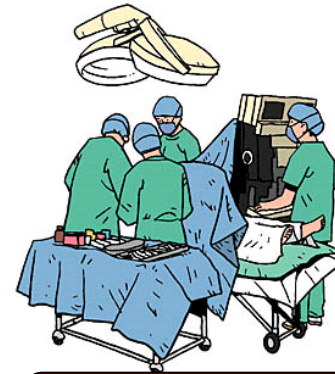


カー・シェアリング

# ICTで安心と繋がりを



インターネット・ショッピング



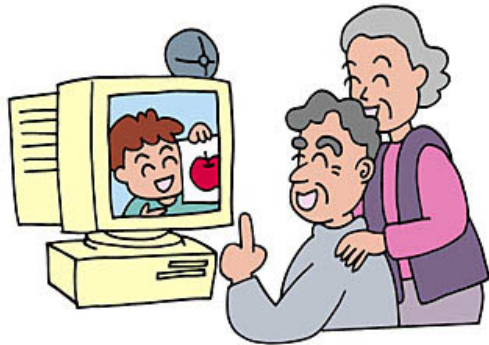
遠隔医療



コミュニケーション

健康管理

安心システム



# 超高齢社会の課題と可能性

